

高千穂峡 真名井の滝と三つの橋

魅力的な白いベールに 17 メートルの高さで降り注ぐ真名井の滝は、高千穂峡を訪れる際に必見の場所で、溪谷の真ん中にあります。最近、日本のトップ 100 の滝に刻まれました。五ヶ瀬川に流れ落ちる様子は、溪谷の遊歩道を歩いたり、小舟に乗ったりする魅力的な方法で楽しめます。真名井の滝の神話の起源は、神がこの地域に水がないことに気付いたときに、地上に与えた最初の水源として作られた湧水に由来すると言われています。また、7月中旬から9月中旬、午後 10 時まで、イルミネーションが絶壁に沿って青、黄色、紫、ピンクの LED ライトを照らし、日中見たことのない真名井の滝が見られます。

滝を見るのに最適なポイントは谷のプロムナード沿いにあり、200 個の竹のようなランタンが夜にあかりが灯され、ここで人気の夜の散歩を神秘的で美しいものにします。溪谷が提供するもうひとつの珍しい光景は、日本で唯一、3 つのアーチ型の橋を見ることができると言われている三橋（写真に最適なスポット）です。それぞれは、日本のさまざまな時代の建築の様式を示しています。神橋は、コンクリートのアーチの上に石造りで建てられています。鋼の高千穂大橋は昭和時代（1926-1989）に作られました。また、平成（1989～2019 年）に建設されたコンクリートの橋は神都高千穂大橋です。